

門 045
號 2591
卷 3

風説都之錦初編卷之三

目録

- 一 本間精一亭、島本前之事、并号
- 一 同人最朝之風説
- 一 宇綿玄菟頭、島本前之事、并号
- 一 同人素不姓之事

一 困憫善由方張紳之友

一 甥業師新所^美盡^心入^心投^心也書附之友

一 御上落身清用掛之事

一 會津去清家神見分之友

一 ^心刀之^心旅人^心即勇之友



凡後部の降家編をの之

八月亦也

今般可系江京上之友馬市有

本間精一五郎

一 け若^心氣^心物^心今^心更^心中^心と^心今^心と^心才^心と

一 鹿^心之^心を^心以^心氣^心人^心を^心或^心心^心と^心才^心と^心高^心也^心と

一 以^心友^心又^心物^心以^心任^心辭^心之^心長^心也^心三^心之^心漢^心

一 之^心後^心と^心修^心海^心物^心有^心志^心之^心君^心を^心新^心同^心

有需其を相乞式、水段の留付を合算
九千、不調好田、能記集り上げ、此より先
新多を寄附、福宮を不主尋め、付合
島中より志す

文久三年八月廿二日

市部所ニ条上ル東生園所田地の
可成るものあり、由り、積つて、即、高年
ニ、九、月、廿二日、福宮の、主人の、より、志す

小日向金剛寺、坂下、積、林、市、又、上、田、友、由、方
之、合、算、を、成、務、と、り、一、生、園、ハ、能、記、集、り
可、成、る、者、今、於、四、条、河、東、上、行、き、し
き、し、所、と、志、す、之、積、り、を、合、算、せ、し、し
此、後、の、時、と、能、記、集、り、所、に、於、て、由、り、の、積、り
上、人、の、寄、附、を、成、務、と、り、一、生、園、ハ、能、記、集、り
可、成、る、者、今、於、四、条、河、東、上、行、き、し
海、世、に、於、て、源、流、を、た、り、と、流、流、に、又、上、行、き、し



本間精一
二十九歳

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

東河大瀨沢多きて流人体の老七分中
纏細下の其下一人をかくる事なる上なる
の人多くと云ふ所は余ハ何の事とも心付凡
物多し今此河系の中は志有る事あり
物に以て流人の物有る事なる事

又一説一古精一五神此流河神法未可
四糸止れ流河河の地居流沢の中多きを
流世古流河物有る事なる事 積一五神

元来未可流一未可事のハ成りて子に流人のよし
あり今今月物有る事なる事一古一流人の身
と云ふれ一神一神を流せん為し母持けり
云々一なる事と推量なり

又一説又未可河の糸下に二月廿日新事あり
流世流河の流河多し或人未可事なる事
流河の流河一北隔一神を其八門口
古きよ大流方と云ふ事一今平なる事なり

扱のきせーがぬい遠景を人とおのり月
すゝる東碗よりとる新しなるものいそり
七八人よりとると等々一平下の多かり
半多程ありぬをぬき給甚ハる門口はおのり
一血をぬきまゝ一平半の刀の折并と
矢之まゝ川移り駐一足居て何れを今
けしよと殺せしちる金一ととる

又一流は右精一帝ハ除経弑御なせし

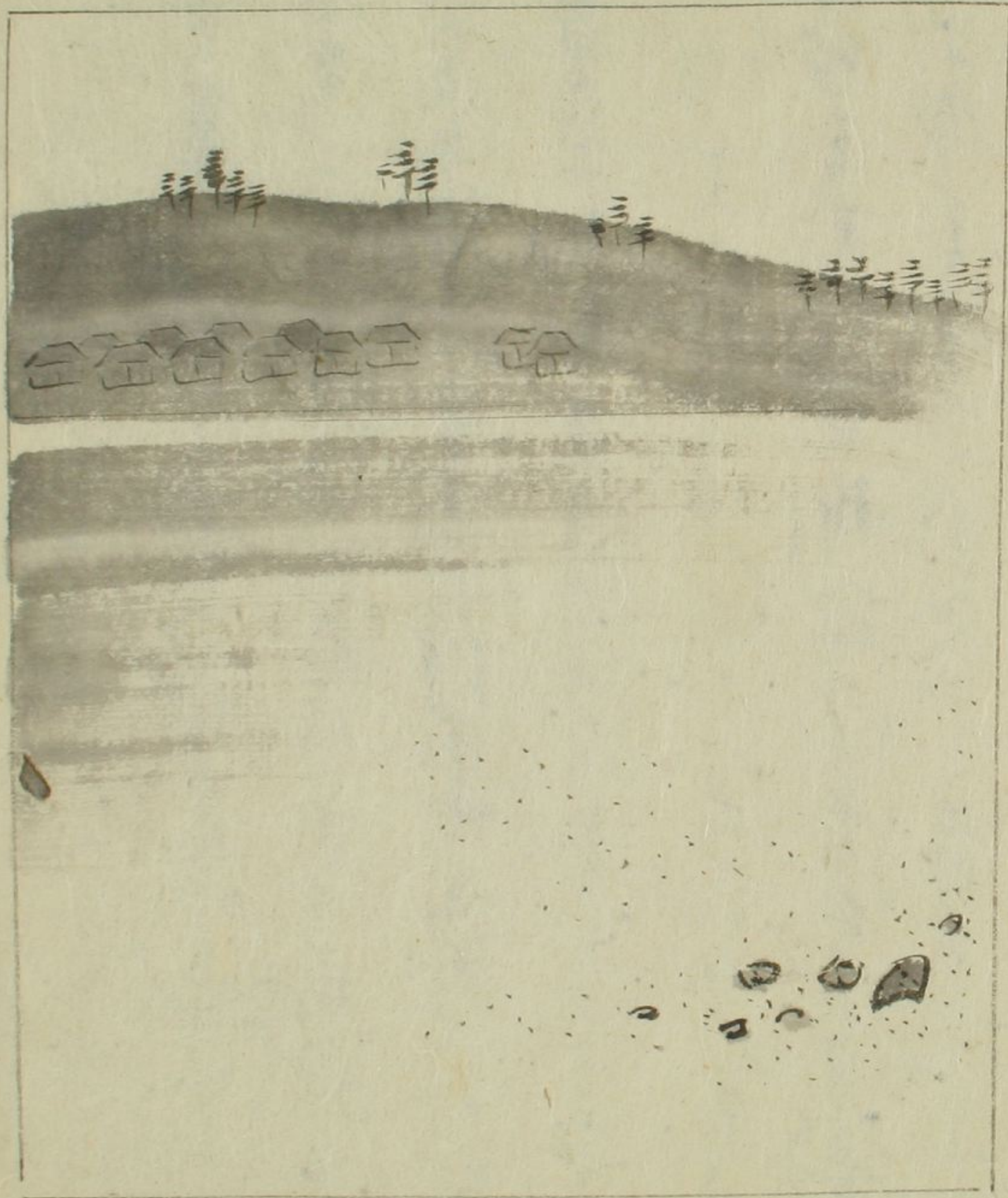
考まほし人七八人より取圍たれと一宮
とせんらんよをかた殺せし申一まゝ
流のまほし程多くお果しとある

同ホセ

今新橋原系よ在し弟前控れし字

こころげんを
今歸玄菩薩頭

一右玄菩薩頭ハ嶋田國股中よりとる也
右義之おのり端し先いそり鼎をたて波がまじし



依し其請をかけるもつて

右云葛原の九条家の法をまゝに

具先々大舎に改め石見守と受領せり

又ハ木工権取を南河原所法家と

兼常にお勤申すハ右所法家と内々

所法家の別出法一人付し其せハ

忽地之を葛原を斬殺し首を長

押し掛る鑓をもちし首を母

之をりしが既今如形を承る也

或人曰り九條殿下ハ元来^{此れ}庶直^{なり}也

賄物^{こつち}扱ハ一切交りし物ハ法向^{ほうむう}歸^{かへ}ら

か新致^{しんせい}そ法家^{ほっけ}が學^{まな}びし賄物^{こつち}と

おのれ物とす^し後殿下^{ごてんげ}を扱^{つか}と致

を^し終^{つひ}に^こ法^{ほつ}を^ま以^もて^し以^もと^す

法^{ほつ}を^ま以^もて^し以^もと^す

建仁寺西条より東側之園語了台卿とて
多量の原色の考何う今就表し格子と
張成の何うとて

之城洲史知部新田村住あり

建仁寺西条より園語善也

一傳軍右と老ハ忠逆非道と不知恥
他之露^{ひん}迫^ま苦^く恨^んを不厭自の信と
て他を漫し世多し理順を名部部

吾謂押録し金を攻し邪欲滅心天
理之背くを罷^{ばい}之考之故^こ為^なす今私
如新以海と取らる事

回

昔業原を新河東又北側東部あり
吾一張成せん之折所あり
古書新書と書取扱也た別ちあり
御海新く之とて

高河内中井の石義通城の鶴田左
多由伊勢心定西と密法より従し
此通し金珠を會う言語通し是也
不加雜戲しやと名朱意味し者申
格別のもの有り多敷と名評し名
付後より事部を云は地ある川流り
そははるる名事申一是通しをりお心
み事りて名を傳ふる有りそ事申

所役人止そ事りて是名事申
順中事申の上

八月

所役人申

存し書附之依事同人の事りて事申

川内

一説よ是に流人の事りて事申
其のせし事り

九月報

本月二月御上治事御用裁

御老中

水野元信

御奉行

内井良助

大目附

大井重左衛門

二条山内重光
山内重光

三田録所

御因書

園部駿河守

御月附

神保重信

御先子

石川左内

右記別段にて御付

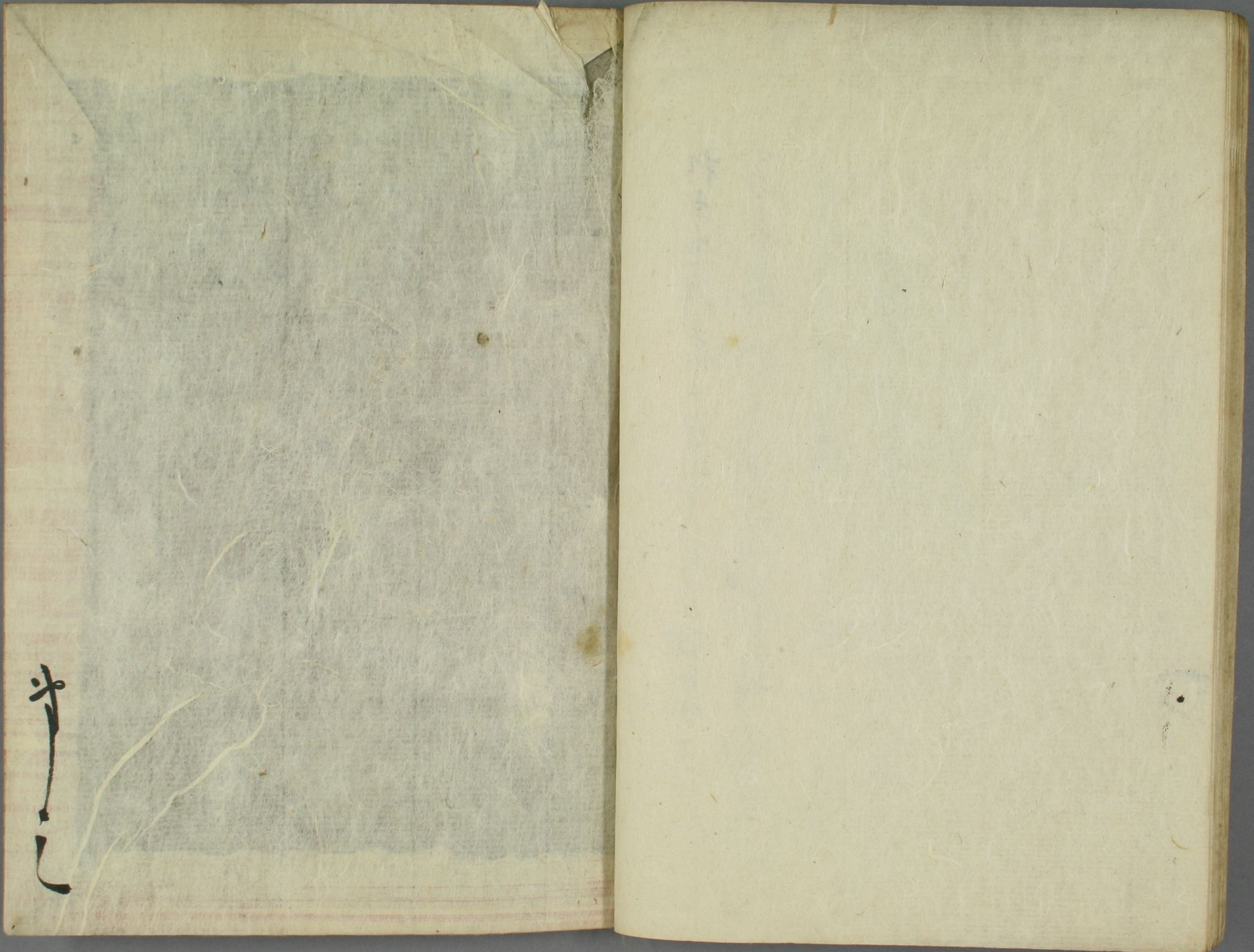
也

會津、肥後守及京御守備後御先子

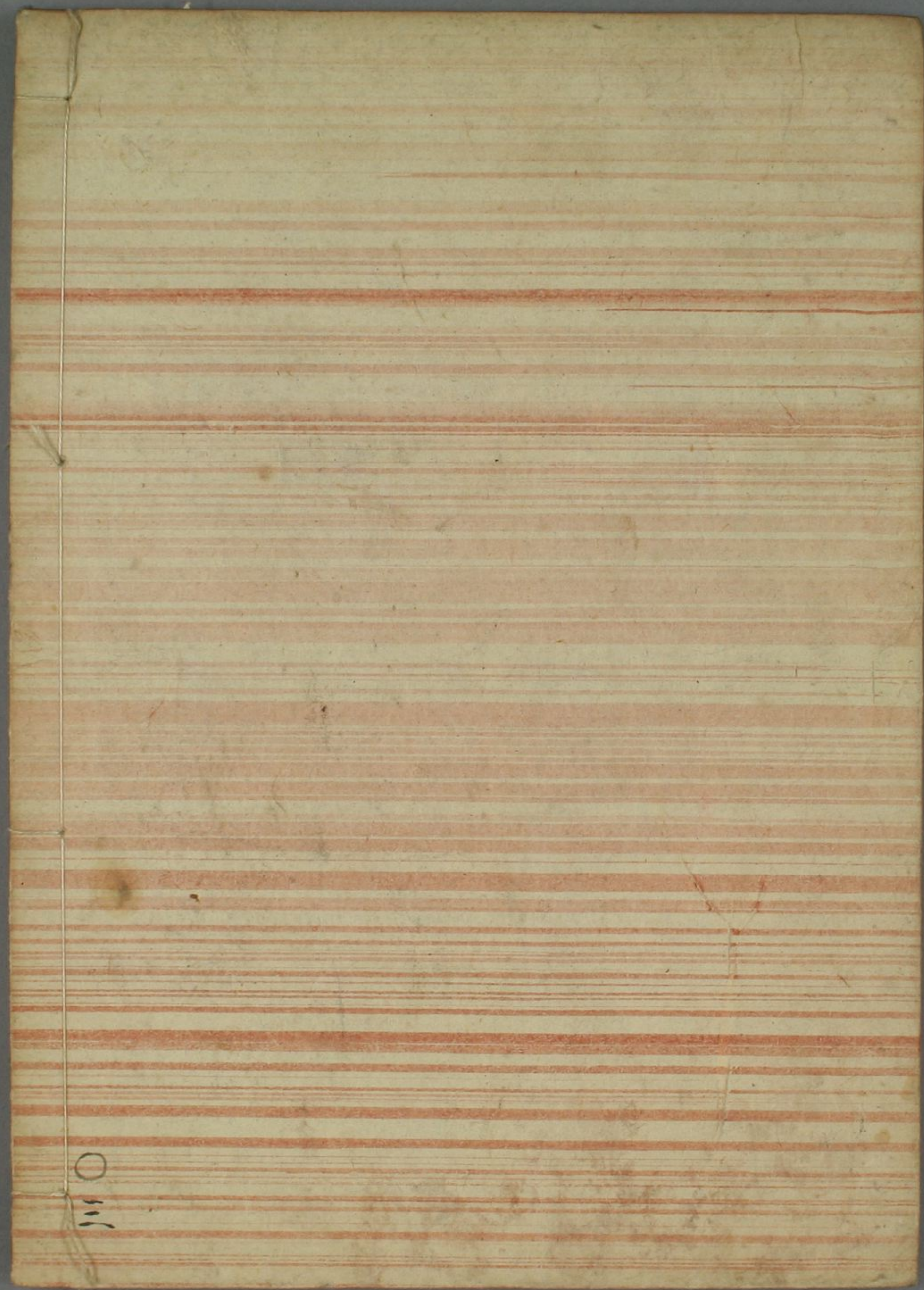
信守の身。山家。地。見。今。有。上。八
中。之。下。八。下。之。下。又。東。八。落。所。
邊。西。八。大。宮。有。一。見。四。方。四。所。一。所。
相。國。寺。門。前。禁。裏。山。所。神。家。終。亦。刀
回。心。身。を。い。ま。げ。至。後。別。津。將。衣。來
動。之。身。が。い。ま。げ。亦。所。邊。百。葉。邊
中。之。身。が。い。ま。げ。亦。所。邊。百。葉。邊

同

相。國。寺。門。前。禁。裏。山。所。神。家。終。亦。刀
回。心。身。を。い。ま。げ。至。後。別。津。將。衣。來
動。之。身。が。い。ま。げ。亦。所。邊。百。葉。邊
中。之。身。が。い。ま。げ。亦。所。邊。百。葉。邊



✱



100